

# にらめっこ

発行責任者 廣瀬邦治 印西市木下東4-6-13  
 TEL 090-1706-2572 E-メール k.hirose8394727@gmail.com  
 ホームページ: <http://inzai9jyounokai.webnode.jp/>



## 石破首相、新人議員に10万円商品券 裏金政治への反省 まったくなし

石破首相が、昨年の衆院選で初当選した自民党議員に対して、ひとり10万円分の商品券を配っていたことが明らかになりました。3月3日に首相公邸で会食を開き、出席した15人の新人議員に「お土産を渡したい」として、各議員の事務所に商品券を配ったとのこと。石破首相は野党の追及に対して「ポケットマネー」と説明し、領収書も求めておらず、政治資金収支報告書への記載もない「裏金」そのものです。

歴代首相も同様のことをしていた事も明らかになりました。裏金問題への反省もないまま、同じような事を繰り返す自民党の金権腐敗体質と倫理観の欠如に、国民の批判がますます高まっています

### 内閣支持率 大幅に下落



### 10万円の商品券配布



## 「学問の自由」を奪う「日本学術会議法案」を廃案に！

政府は「日本学術会議法案」を国会で成立させようとしています。

法案の狙いは、「軍事研究」の推進に対して反対を貫いてきた日本学術会議から自主性・独立性を奪い、政府や財界に従属する機関へと変質させることにあります。歴代会長6氏は声明で「日本の学問の終わりの始まりになりかねない」と反対の声をあげています。憲法23条が保障する「学問の自由」を奪う「日本学術会議法案」は、撤回しかありません。

## 憲法96条改正に意義あり！（第2回）

日本国憲法は、憲法が簡単に変更されて人権保障が弱められてしまうことのないよう、憲法の改正には各議院の総議員の3分の2以上の賛成による国会の発議と国民投票が必要であるとしています（96条）。

この憲法改正手続を定めた96条について、国会による発議の要件を、各議員の総議員の過半数に緩和しようという動きがあります。

Point  
3

今、96条を改正して憲法を  
変えやすくしようとする動きがある。

それが今、衆参両議院のそれぞれ**総議員の過半数**だけで簡単に憲法を発議（提案）できるようにしようという動きがあるの！



Point  
4

すると、憲法がどんどん変えられて  
人権が守られなくなる。

96条が改正されたら、その時々**の権力者の都合で、他の大事な条文も簡単に換えられちゃうかも**——



例えば  
こんな事に…



**憲法9条**（戦争放棄）を変えて  
自衛隊を「軍隊」にして  
戦争のできる国へ！



**憲法21条**（表現の自由）を  
変えてインターネットでの  
情報発信・収集を制限！

ええー！ そしたら**憲法が国の権力者をしぼることができなくなっちゃうんじゃない？！**



【日本弁護士連合会ホームページより引用】

## 【投稿】

### 佐倉平和の鐘、9条の鐘を見学して

6人の会員で佐倉の平和の鐘(9条の鐘)の見学に行ってきました。

京成佐倉駅から直ぐ近くの大通りに面した所に設置されていました。

敷地は佐倉・九条の会の萩原さんが建てた「ひだまり」という素敵なたまり場の庭に設置されていました。

萩原さんと弁護士さんが迎えて下さいました。建立迄の経過や資金や、平和の鐘にしたいきさつなど丁寧に説明してくださり、質問にも快く答えて下さいました。

とても和やかな雰囲気のためになるお話をたくさん聞いて、非常に有意義なひと時でした。行って良かったです。

印西では広く賛同してくれる団体や個人に訴えて、自分達の9条の碑と誇れる様な運動にしていきたいとおもいました。

最後に鐘を突かせて頂きました。

快い鐘の音が辺りに響いて感激でした。 (NH)



佐倉 平和の鐘

### ～ 投稿を募集しています ～

日頃感じていること、ご意見・ご要望など、みなさんの声をお寄せ下さい。テーマ・表題などは自由です。文字数は800文字以内で、短文投稿でも歓迎です。ペンネームでも結構です。お気軽に投稿を。

## 千葉13区市民連合が全体集会

千葉13区市民連合は4月20日、白井市文化センターで全体集会を開催しました。千葉13区の各行政区（白井市、印西市、鎌ヶ谷市、酒々井町、栄町）からの参加者により活発な対話・討論が行われ、『平和と暮らしを壊す自公政治を変えるため、市民と野党の共闘を再構築し、来るべき総選挙で千葉13区における勝利をめざす』などの活動方針を決めました。



未来は変えられる！戦争ではなく平和な暮らし！

## 2025 憲法大集会

5月3日の憲法記念日 東京・有明防災公園で

- ・改憲発議を許さず、憲法をいかし、平和・いのち・暮らし・人権を守ります。
- ・パレスチナの恒久的停戦とウクライナからの撤退、憲法9条をいかした平和外交をミャンマーや韓国市民などの民主化運動に連帯し、東アジアの平和を求めます。
- ・台湾有事の扇動を許さず、敵基地攻撃能力の保有と全土へのミサイル基地配備の撤回
- ・平和主義を貫き、核兵器のない世界を。日米軍事一体化と軍拡増税武器輸出を許さず。
- ・沖縄の民意を踏みにじる辺野古基地建設反対、日米地位協定の抜本的改定を求めます。
- ・原発推進政策を撤回し、再生可能エネルギーへの転換を求めます。
- ・ジェンダー平等実現、選択的夫婦別姓の法制化、個人の尊厳を大切に作る社会を。

主催 平和といのちと人権を！5・3憲法集会実行委員会

共催 戦争をさせない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会  
九条の会 他

### 編集日誌

▼3月31日、衆院で与党過半数割れに追い込まれた石破茂政権は部分的修正と引き換えに一部野党を取り込んで辛うじて予算を成立させました。

▼社会保障関係費、文教費、中小企業対策費など、暮らしの予算はどれも物価上昇に追いつかない実質マイナスになっています。

▼一方、軍事費は前年度比9・4%増の8・7兆円と突出、さらに法人税率の引き下げや大企業への優遇税制による減税額は11・1兆円まで膨れ上がっています。

▼国民生活をないがしろにする自民党政治への怒りは、石破首相の商品券配布問題でさらに広がっています。